

# 改 善 計 画 書

平成17年5月16日

千葉市長 鶴岡 啓一 様

千葉市中央区川崎町1番地  
JFE スチール株式会社  
専 務 今村 晴幸  
東日本製鉄所長

## 記

平成17年3月16日付け16千市環規第480号の汚水等の処理の方法の改善指示を受けた、西工場護岸防波堤から排出されるおそれのある、西工場スラグ堆積場からの水素イオン濃度に係わる排水基準に適合しないおそれのある排出水を、西5号線排水口から排出することについての改善計画を下記のとおり報告します。

- 1 特定事業場の所在地 千葉市中央区川崎町1番地
- 2 特定事業場の名称 JFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区
- 3 排水基準違反の原因  
資料1を参照下さい。
- 4 改善の内容  
資料1を参照下さい。
- 5 改善の着手、完了予定年月日  
着 手 年 月 日：所定の手続き完了後速やかに着工致します。  
完了予定年月日：工事許可後90日
- 6 改善完了までの暫定措置  
資料1を参照下さい。
- 7 その他  
地下水調査については現在実施中です。別途ご相談させて頂きたくお願い致します。

## 資料 1

西工場護岸防波堤から排出されるおそれのある、西工場スラグ堆積場からの水素イオン濃度に係る排水基準に適合しないおそれがある排出水を、西5号線排水口から排出する件に関する改善計画書

### 1. 西工場防波堤およびその周辺からの高アルカリ水排出について

#### 1. 1 西工場防波堤およびその周辺からの高アルカリ水排出の原因

西工場西護岸周辺に置いたスラグ山および公共用地に敷いた表層土（スラグ）に含まれるカルシウム成分が雨水に溶出して高アルカリ水となり、地表面および表面直下の地中に流れ出した水が、地盤レベルの低い護岸北西の角に溜まり、越波した海水を抜くために設置した防波堤の水抜き孔および護岸の低い部分から海へ流れ出しました。

#### 1. 2 改善計画

- ① 公共用地に敷かれた表層土を掘削撤去し、山砂にて埋め戻します。  
(完了しております。)
- ② 公共用地と弊社敷地境界に鋼矢板を打設し、地表面にコンクリート堰を、鋼矢板を包み込む構造で設置し、弊社側に降った雨水が地表面から公共用地側へ流出するのを防止致します。また、鋼矢板は地表よりおおよそ10mの深さにある粘性土層（不透水層）まで打ち込むことで、雨水が地中に浸透した場合でも止水できる構造と致します。  
(鋼矢板打設完了しております。コンクリート堰は未完了です。)
- ③ 改善工事中は、公共用地内に仮設排水路および仮設中和設備を設置し、公共用地の雨水および越波した海水のpHを確認し、必要に応じて中和処理をして排水致します。  
(実施中です。)
- ④ 改善工事完了後、公共用地内に溜まる雨水および越波した海水の水質に問題がないことが確認できた段階で、現在閉鎖している防

波堤の水抜き孔を復旧し、そこより排水致します。  
確認ができるまでは上記③の処理を継続致します。

- ⑤ 北護岸周辺に敷かれたスラグを掘削撤去するとともに、北護岸を1 m嵩上げすることで、表面の雨水が護岸から流出しない構造と致します。

(スラグの掘削撤去、北護岸嵩上げは完了しております。)

- ⑥ 鋼矢板の弊社側、スラグ置場近傍(護岸西北端より南へ1050 mまでの範囲)には排水溝を設置し、雨水を集水致します。雨水は必要に応じて中和処理を実施して排水致します。

(未着手です。)

上記②項の改善概要を図1(A)および(B)に⑤項の改善概要を図2に示します。

## 2. 西工場スラグ堆積場の雨水排水に関する今後の取り組み

現在スラグ堆積場周辺の雨水は側溝に集水し、西5号線排水口から排水していますが、高アルカリを呈する可能性があるため、仮設pH処理設備を設置し、必要に応じて中和処理を行い排水しております。

今後、中和処理設備の本設化を行います。